

2007年度 東北大学法科大学院入学試験

試験科目：刑事法（刑法）

Xは、2006年10月25日午前1時頃、自宅の近くにある駐車場に、キーを挿したまま駐車されていたV所有の普通乗用自動車を見つけ、Vに無断で、同日の午前6時頃までには、元の場所に戻すつもりで乗り出し、市内を乗り回していた。

午前2時頃、Xが市内の△公園横の交差点で信号待ちをしていたところ、△公園で友人のYがAと殴り合っているのを発見した。Xは、自動車を公園脇の車道に止め、Yに加勢するつもりで、「何やってんだ。」と大声で言いながら、Yの方に駆け寄った。Xが駆けつけたことにより勢いを得たYは、Xと2人でAの顔面や身体を殴る蹴るなどしたところ、Aが「すみませんでした。勘弁してください。」と謝ったので、XはYに対し「おい、これくらいで勘弁してやろうぜ。車で家まで送ってやるよ。」と言って、Yを公園脇の車道に止めていた自動車に乗せ、Yの自宅アパート前まで送った。車中で、XがYに喧嘩になった経緯を尋ねたところ、Yは、公園付近を歩いていたところ、向こうから歩いてきたAと肩がぶつかったので、口論となったが、自分がAの肩付近を右手で突いたことをきっかけに、殴り合いになってしまったと話した。なお、上記の殴り合いによりAは鼻骨骨折等の傷害を負ったが、それが、XがYに加勢する前後いずれの暴行によるものかは不明であった。

その後、Xは、午前5時頃、V所有の自動車を元の場所に戻して、帰宅した。

Xの罪責について論じなさい。